科研費

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 2 1 日現在

機関番号: 32660

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2020~2023 課題番号: 20H02951

研究課題名(和文)植物の嗅覚受容システムの解明

研究課題名(英文) Research on odorant reception system in plants

研究代表者

有村 源一郎 (Arimura, Gen-ichiro)

東京理科大学・先進工学部生命システム工学科・教授

研究者番号:60505329

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,500,000円

研究成果の概要(和文):植物は、揮発性化学物質(VOC)を大気中に放出することで周囲の植物とコミュニケーションを図ることができる。VOCであるオシメンに曝されたシロイヌナズナの葉では、防御応答関連転写因子であるERFの遺伝子領域がヒストンアセチル基転移酵素であるHAC1、HAC5、HAM1によってアセチル化制御され、ヒストン脱アセチル化酵素であるHDA6によってフィードバック制御されることで遺伝子発現制御されることが見出された。さらに、八スモンヨトウ幼虫に食害されたトマト葉で発現が誘導されるVOC輸送候補分子が、食害時特異的にVOCの細胞外輸送を担う分子である可能性が示唆された。

研究成果の学術的意義や社会的意義 植物に嗅覚があるか?植物の感覚受容システムを解き明かすのは学術的に極めて重要な課題である。本研究では その作用機序の一部を解明することによって、VOCを介した植物の生存戦略とコミュニケーション能力に関する 新規知見を得た。また、当該コミュニケーションは植物の害虫抵抗性を強化する効果があることから、植物の VOC成分をバイオスティミュラント資材として、あるいは有用VOCを放出する植物をコンパニオンプランツとして 用いることで農業における害虫防除につながることが期待される。本研究の成果はそれらの実装に向けた新たな 学術基盤を構築した。

研究成果の概要(英文): Plants have the ability to communicate with neighboring plants by releasing volatile organic compounds (VOCs) into the atmosphere. The gene region of ERF, a defense response-related transcription factor, was found to be acetylation-regulated by histone acetyltransferases HAC1, HAC5, and HAM1 and negatively regulated by histone deacetylase HDA6 in Arabidopsis leaves exposed to ocimene. The corresponding gene expression was thus controlled by feedback regulation. Furthermore, it was suggested that the candidate VOC transport molecules expressed in tomato leaves damaged by Spodoptera litura larvae may be responsible for the extracellular transport of VOCs specifically during herbivory.

研究分野: 分子生態学

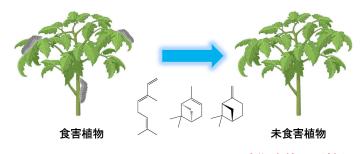
キーワード: 植物間コミュニケーション 揮発性化学物質(VOC) エピジェネティック 害虫

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

害虫に食害された植物は VOC を大気中に放出し、その VOC を受容した近隣の未被害植物 は害虫抵抗性を高めることができる。このような VOC を介した植物間コミュニケーション は"トーキングプランツ"または"VOC の立ち聞き"と言われている(図1)。

VOC を受容した植物葉では、防御遺伝子発現の活性化等によって食害抵抗性が増す。これらの応答は、VOC 受容植物細胞におけるジャスモン酸シグナル伝達系等の活性化が担うが、これらの情報伝達系から遺伝子発現制御に至るための分子機構は不明であった。さらに重要な問いは、葉における未知の VOC の受容および輸送システムにある。動物がもつ嗅覚受容体を持たない植物では、トマト葉でメタクロレインやヘキセノールは細胞質基質に積極的に取り込まれること、タバコ葉ではカリオフィレンが TOPLESS 転写因子と結合するといった報告に基づいて、一部の VOC は細胞内に取り込まれることで防御応答が活性化される作用機序が考察されていた。



防御応答の活性化

図 1 VOC を介した植物間コミュニケーションが担う防御応答

2. 研究の目的

本研究では、植物の VOC 受容・輸送体および、VOC 応答遺伝子の転写制御を担うエピジェネティクス制御因子の同定を試みた。それらの分子の VOC 受容植物の防御応答誘導における役割を明らかにすることで、VOC を介した当該作用機序の解明を目指した。

3. 研究の方法

VOC センサーのスクリーニング: ミントの主要香気成分であるメントールのヒドロキシ基にバリンを縮合させたメントール誘導体 (ment-Val) と相互作用するシロイヌナズナの受容体キナーゼ (RLK) を AlphaScreen 法およびファージディスプレー次世代シークエンス解析を用いてスクリーニングした。

VOC **輸送体のスクリーニング**: ハスモンヨトウ幼虫に 24 時間食害させた野生型トマト (cv. MicroTom) 葉の遺伝子発現 (RT-QPCR) 解析を行い、未食害株と比較して発現が上昇した VOC 輸送体候補遺伝子 (ABC トランスポーターおよび脂質結合タンパク質 (nsLTP)) をス

クリーニングした。大気中に放出された VOC はガスクロマトグラフィー質量分析 (GC-MS) 解析によって定量分析された。

シロイヌナズナの VOC **応答アッセイ**: シロイヌナズナ野生株、ヒストンアセチル基転移酵素(HAT)変異株、ヒストン脱アセチル化酵素(HDA6)変異株にオシメン(β -ocimene)を 6 日間曝し、クロマチン免疫沈降シーケンス(ChIP-Seq)、ChIP-QPCR および RT-QPCR 解析を行なった。

VOC バイオスティミュラント: ment-Val および植物 VOC を含む精油をトマト、レタスに処理し、防御遺伝子発現の活性化および害虫抵抗性を評価した。

4. 研究成果

VOC センサーの同定

ミントの主要VOCであるメントールに曝されたダイズの葉では、防御遺伝子発現が活性化され、害虫抵抗性が高められる。さらに、メントールをバリンで修飾した誘導体 (ment-Val) が処理されたダイズ、レタス、トマト等の葉においても防御遺伝子発現が誘導されたことから、このメントール誘導体は植物間コミュニケーションにおけるVOC情報伝達分子の類縁体としてはたらくことが示唆された。

植物のVOCセンサー分子を同定するために、ment-Valと相互作用するシロイヌナズナの RLKをAlphaScreen法を用いてスクリーニングした。結果、abnormal leaf shape 2 (ALE2) 等の 受容体候補が同定された。一方、ファージディスプレー次世代シークエンス解析から同定 された、ment-Valと相互作用するペプチド配列をもつタンパク質候補のment-Val結合を AlphaScreen法を用いて評価したが、ment-Valと有意に結合するタンパク質の同定には至らなかった。

なお、ment-Valが処理されたマウスマクロファージ細胞(RAW264.7)では、核内受容体であるLXRを介して、炎症反応遺伝子 Tnfの発現が抑制される機構が明らかにされた。この作用機構における情報をもとに、植物のVOCセンサー機構の解明につなげたい。

VOC 輸送体の同定

ハスモンョトウ幼虫の食害によってトマト葉ではピネンの放出が誘導された。本研究ではこのテルペンの細胞外輸送機構の解明を目指して、花香気成分の輸送因子であるABCトランスポーターやnsLTPと相同性を示すトマト遺伝子のハスモンョトウ食害葉での発現を評価した。結果、2種のABCトランスポーターと3種のnsLTPの発現は食害によって数十~数百倍誘導された。当該ABCトランスポーターは細胞膜に、nsLTPは細胞壁に局在していた。また、トランスポーターが欠損した酵母株にABCトランスポーター候補遺伝子を相補した株では、ゲラニオールによる細胞毒性が軽減された。さらに、nsLTP候補は特定のテルペンと

相互作用することが示された。以上の結果から、本研究では同定されたABCトランスポーターおよびnsLTP候補分子が食害時特異的にVOCの細胞外輸送を担う分子である可能性が示唆された。

VOC受容植物におけるエピジェネティク転写制御機構

匂いを受容した植物におけるエピジェネティクス制御を介した、防御遺伝子の転写制御機構を明らかにするために、播種後7、16、21、26日目のシロイヌナズナにそれぞれ6日間 β -ocimeneを曝し、32日目における虫害抵抗性を評価した。結果、21日目または26日目から β -ocimeneに曝された場合のみ虫害抵抗性が向上したことから、 β -ocimeneに曝された植物では5日間程度防御応答を維持できることが示唆された。さらに、26日目から β -ocimeneを曝露した植物においてChIP-Seg解析を行った結果、1588の遺伝子でヒストンアセチル化が亢進さ

れた。特に、ERF8とERF104は、播 種後21日目および26日目から曝し た植物でヒストンアセチル化およ び転写の亢進が認められた。これら の応答は、HATであるHAC1、HAC5 およびHAM1によって制御され、ヒ ストン脱アセチル化酵素である HDA6によってフィードバック制 御されることが示唆された。これら の結果から、β-ocimeneに曝された シロイヌナズナでは、HAC1等を介 してERFが活性化され、HDA6等に よりリプログラムされるまで活性 化状態を維持できることが示唆さ れた(図2)。

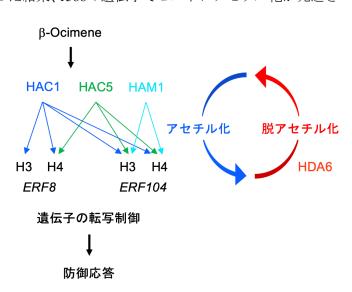


図 2 β -ocimene に曝されたシロイヌナズナ葉に おけるヒストンアセチル化制御と遺伝子発現制御

VOCバイオスティミュラントの開発

11 種類の異なる精油溶液を鉢植えのトマト土壌に施用することにより、 β -シトロネロールを豊富に含むローズ精油がトマトの葉の防御遺伝子 PRI の活性化に重要な役割を果たすことを明らかにした (図3)。さらに、ローズ精油溶液はチリカブリダニ($Phytoseiulus\ persimilis$)といった害虫の捕食性天敵を誘引する生理活性を有していた。

総括

本研究において、植物の VOC センサーおよび輸送体の候補が同定された。しかし、VOC センサー候補である ATL2 および VOC 輸送体である ABC トランスポーターや nsLTP の分

子機能は未解明であり、さらに詳細な解析が必要であると言える。一方、シロイヌナズナの β-ocimene 応答において、HAC1/HDA6 システムを介したエピジェネティク転写制御機構が防御応答において重要な役割を担うことが示唆された。さらに、本研究で開発されたローズ精油やment-ValのようなVOCバイオスティステントを実装することによって、環境にやさしく農薬に過度に依存しない有機栽培システムの実現が期待される。

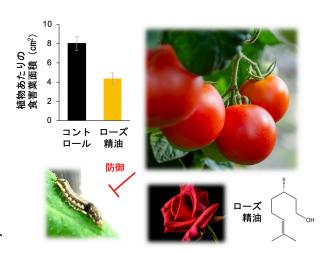


図3 ローズ精油バイオス ティミュラントの開発の概要

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計66件(うち査読付論文 53件/うち国際共著 7件/うちオープンアクセス 19件)

Desaki Yoshi take, Morishina Minani, Sano Yuka, Uenura Takuya, Nemoto Kelichirou, Mozana Mira, Sawasaki Tatsuya, Arlinara Gen-ichiro 2	【雑誌論文】 計66件(うち査読付論文 53件/うち国際共著 7件/うちオーブンアクセス 19件)	
2 . 論文標語 Cytoplasnic Kinase Network Mediates Defense Response to Spodoptera litura in Arabidopsis 3 . 雑誌名 Plants 6 . 最初と最後の頁 1747 - 1747		4.巻 12
Plants	2 . 論文標題	
10.3390/plants12091747		
1. 著名名 Kaneko Eiki, Matsui Kenji, Nakahara Ruka, Arimura Gen-ichiro 2. 論文標題 Novel Potential of Rose Essential Oil as a Powerful Plant Defense Potentiator 3. 雑誌名 Journal of Agricultural and Food Chemistry 6. 最初と最後の頁 6526 ~ 6532 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jafc.3c08905 第一方フンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Mori Genki, Rahimian Sarira, Ozawa Rika, Murata Kenya, Hachisu Masakazu, Arimura Gen-ichiro 2. 論文標題 Development of Menthyl Esters of Valine for Pest Control in Tomato and Lettuce Crops 3. 雑誌名 Plants 6. 最初と最後の頁 1015 ~ 1015 10.3390/plants13071015 第一方フンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5. 飛行年 2024年 11. 著名名 オープンアクセス 国際共著 イープンアクセス 国際共著 11. 著名名 12. 論文標題 12. 清本名名 13. 雑誌名 13. 独誌名(15. 和リンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 11. 著名名 13. 独談の有無 12. 本のより、Minura K., Miyanaga M., Uemura T., Hachisu M., Miyagawa S., Ramadan A., Sukegawa S., Kobayayshi M., Kirura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama		
Kaneko Eiki, Matsui Kenji, Nakahara Ruka, Arimura Gen-ichiro 72 12 13		国際共著
Kaneko Eiki, Matsui Kenji, Nakahara Ruka, Arimura Gen-ichiro 72 2 . 論文標題 Novel Potential of Rose Essential Oil as a Powerful Plant Defense Potentiator 2024年 2024年 2024年 3. 雑誌名 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁 6526~6532 6. 最初と最後の頁 6526~6532 6. 最初と最後の頁 6526~6532 6. 最初に 2024年 72) 72 を 13 を 14 を 13 を 14 を 13 を 14 を 13 を 14 を 13 を 15 を 14 を 15 を 15 を 15 を 16 を 16 を 16 を 16 を 16		
Novel Potential of Rose Essential Oil as a Powerful Plant Defense Potentiator 2024年 3. 雑誌名 Journal of Agricultural and Food Chemistry 6. 最初と最後の頁 6526~6532 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jafc.3c08905 7 オープンアクセス 1 著者名 Mori Genki、Rahimian Sarira、Ozawa Rika、Murata Kenya、Hachisu Masakazu、Arimura Gen-ichiro 2. 論文標題 Development of Menthyl Esters of Valine for Pest Control in Tomato and Lettuce Crops 3. 雑誌名 Plants 6. 最初と最後の頁 1015~1015 月報輸設文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/plants13071015 2 語文標題 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 著者名 Takasawa S.、Kimura K.、Miyanaga M.、Uemura T.、Hachisu M.、Miyagawa S.、Ramadan A.、Sukegawa S.、Kobayashi M.、Kimura S.、Matsui K.、Shiroishi M.、Terashita K.、Nishiyama C.、Yashiro T.、Nagata K.、Higami Y.、Arimura G. 2. 論文標題 The powerful potential of amino acid menthyl esters for anti-inflammatory and anti-obesity therapies 3. 雑誌名 Immunology 日本教と表表の表現記録の頁 in press 月報輸設文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 五読の有無		
B戦論文のDDI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有 オープンアクセス 本ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 本・プンアクセス 本・プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 本・プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 本・グロス		
### 10.1021/acs.jafc.3c08905 有		
*** オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 *** - *** 1 . 著者名 Mori Genki、Rahimian Sarira、Ozawa Rika、Murata Kenya、Hachisu Masakazu、Arimura Gen-ichiro		
Mori Genki、Rahimian Sarira、Ozawa Rika、Murata Kenya、Hachisu Masakazu、Arimura Gen-ichiro 13 2 . 論文標題 Development of Menthyl Esters of Valine for Pest Control in Tomato and Lettuce Crops 2024年 3 . 雑誌名 Plants 6 . 最初と最後の頁 1015~1015 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .3390/plants13071015		国際共著
Development of Menthyl Esters of Valine for Pest Control in Tomato and Lettuce Crops 2024年 3 . 雑誌名 Plants 6 . 最初と最後の頁 1015~1015 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/plants13071015		
Plants 1015~1015 1015~		
### 10.3390/plants13071015 有		
### 1. 著者名 Takasawa S., Kimura K., Miyanaga M., Uemura T., Hachisu M., Miyagawa S., Ramadan A., Sukegawa S., Kobayashi M., Kimura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higami Y., Arimura G. 2. 論文標題 The powerful potential of amino acid menthyl esters for anti-inflammatory and anti-obesity therapies 3. 雑誌名 Immunology 4. 巻 5. 発行年 2024年 6. 最初と最後の頁 in press		
Takasawa S., Kimura K., Miyanaga M., Uemura T., Hachisu M., Miyagawa S., Ramadan A., Sukegawa S., Kobayashi M., Kimura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higami Y., Arimura G. 2 . 論文標題 The powerful potential of amino acid menthyl esters for anti-inflammatory and anti-obesity therapies 3 . 雑誌名 Immunology 4 動談会の頁 in press		国際共著
Takasawa S., Kimura K., Miyanaga M., Uemura T., Hachisu M., Miyagawa S., Ramadan A., Sukegawa S., Kobayashi M., Kimura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T., Nagata K., Higami Y., Arimura G. 2 . 論文標題 The powerful potential of amino acid menthyl esters for anti-inflammatory and anti-obesity therapies 3 . 雑誌名 Immunology 4 動動会の同じにデジタルオブジェクト識別子) 李読の有無		T . W
The powerful potential of amino acid menthyl esters for anti-inflammatory and anti-obesity therapies 3 . 雑誌名 filmmunology 6 . 最初と最後の頁 in press film pre	Takasawa S., Kimura K., Miyanaga M., Uemura T., Hachisu M., Miyagawa S., Ramadan A., Sukegawa S., Kobayashi M., Kimura S., Matsui K., Shiroishi M., Terashita K., Nishiyama C., Yashiro T.,	4 . 巻 <u>-</u>
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 in press Immunology in press 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	The powerful potential of amino acid menthyl esters for anti-inflammatory and anti-obesity	
	3.雑誌名	
	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無有
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -		国際共著

1.著者名	4 . 巻
有村源一郎,上村卓矢	301
2 . 論文標題	5.発行年
匂いが動かす植物のコミュニケーション	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
<u> </u>	35-41
	35-41
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4.巻
有村源一郎	77
2.論文標題	5.発行年
植物の匂いを利用した減農薬栽培技術の開発	2023年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
植物防疫	26-29

掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ***	4 **
1.著者名 有村源一郎	4.巻
· ja f y //ボ	3
2. 論文標題	5 . 発行年
植物の匂いが担う生物間コミュニケーション	2023年
3.雑誌名	 6.最初と最後の頁
- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	430-434
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
ナープンフタセス	ラM7 ++ 芝
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
	1
1 . 著者名	4 . 巻
Aratani Yuri, Uemura Takuya, Hagihara Takuma, Matsui Kenji, Toyota Masatsugu	14
2.論文標題	5.発行年
Green leaf volatile sensory calcium transduction in Arabidopsis	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Communications	6236
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	 査読の有無 有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	

1.著者名	4 244
	4 . 巻
Tanaka Yasuhiro, Fujita Kenya, Date Minori, Watanabe Bunta, Matsui Kenji	18
2.論文標題	
Structure-activity relationship of volatile compounds that induce defense-related genes in	2023年
maize seedlings	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant Signaling Behavior	2234115
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u> 査読の有無
10.1080/15592324.2023.2234115	有
ナープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

. 著者名	4.巻
Sugimoto Koichi、Matsui Kenji、Takabayashi Junji、et al.	14
2.論文標題	
	2023年
Identification of a tomato UDP-arabinosyltransferase for airborne volatile reception	2023++
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Communications	677
□ # ☆☆	本性の方無
載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41467-023-36381-8	有
- - ープンアクセス	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4.巻
松井健二	51
論文標題	5.発行年
	2024年
みどりの香り (GLV) の働きを探る 青草はあおくさい	2024 T
· . 雑誌名	6.最初と最後の頁
グリーン・エージ	
グリーン・エージ	34-38
	査読の有無
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
なし	無 無
なし	
なし トープンアクセス	無 無
マープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	無
なし Tープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
・	無 国際共著 - 4 . 巻 299
でして、イープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 手嶋琢、松井健二 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 299 5.発行年
・	無 国際共著 - 4 . 巻 299
なし	無 国際共著 - 4.巻 299 5.発行年 2023年
で カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 手嶋琢、松井健二 . 論文標題 キノコの主要成分。マツタケオール(1-オクテン-3-オール)はどのように作られるのか? . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 299 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 手嶋琢、松井健二 . 論文標題 キノコの主要成分。マツタケオール(1-オクテン-3-オール)はどのように作られるのか?	無 国際共著 - 4.巻 299 5.発行年 2023年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 手嶋琢、松井健二 . 論文標題 キノコの主要成分。マツタケオール(1-オクテン-3-オール)はどのように作られるのか?	無 国際共著 - 4 . 巻 299 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 299 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 299 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 29-39
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 手嶋琢、松井健二 2 . 論文標題 キノコの主要成分。マツタケオール(1-オクテン-3-オール)はどのように作られるのか? 3 . 雑誌名 香料	無 国際共著 - 4 . 巻 299 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 29-39 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 手嶋琢、松井健二 2 . 論文標題 キノコの主要成分。マツタケオール(1-オクテン-3-オール)はどのように作られるのか? 3 . 雑誌名 香料	無 国際共著 - 4 . 巻 299 5 . 発行年 2023年 6 . 最初と最後の頁 29-39 査読の有無

1.著者名 Nozawa Akira、Miyazaki Ryoko、Aoki Yoshinao、Hirose Reina、Hori Ryosuke、Muramatsu Chihiro、Shigematsu Yukinori、Nemoto Keiichirou、Hasegawa Yoshinori、Fujita Keiko、Miyakawa Takuya、Tanokura Masaru、Suzuki Shunji、Sawasaki Tatsuya	4.巻 6
2.論文標題 Identification of a new gibberellin receptor agonist, diphegaractin, by a cell-free chemical screening system	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 Communications Biology	6.最初と最後の頁 448
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s42003-023-04760-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Saito S., Nishihara M., Kohakura M., Kimura K., Yashiro T., Takasawa S., Arimura G.	4.巻 120
2.論文標題 Metabolic engineering of betacyanin in vegetables for anti-inflammatory therapy	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 Biotechnology and Bioengineering	6.最初と最後の頁 1357-1365
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/bit.28335	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Kawaguchi J., Hayashi K., Desaki Y., Ramadan A., Nozawa A., Nemoto K., Sawasaki T., Arimura G.	4 . 巻 ²⁴
2.論文標題 JUL1, ring-type E3 ubiquitin ligase, is involved in transcriptional reprogramming for ERF15- mediated gene regulation	5 . 発行年 2023年
3.雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6.最初と最後の頁 987
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms24020987	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Onosato H., Fujimoto G., Higami T., Sakamoto T., Yamada A., Suzuki T., Ozawa R., Matsunaga S., Seki M., Ueda M., Sako K., Galis I., Arimura G.	4.巻 189
2. 論文標題 Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 Plant Physiology	6.最初と最後の頁 922-933
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1093/plphys/kiac077	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 #A4	4 **
1. 著者名 Chiminu K. Cumuki H. Hamura T. Nanawa A. Dasaki V. Haskina D. Vaskida A. Aka H.	4 . 巻
Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H.,	10
Nishiyama M., Nishiyama C., Sawasaki T., Arimura G.	F 38/-/T
2 . 論文標題	5.発行年
Immune gene activation by NPR and TGA transcriptional regulators in the model monocot	2022年
Brachypodium distachyon	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant Journal	470-481
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/tpj.15681	有
10.1111/τμ].19001	The state of the s
オープンアクセス	 国際共著
	国际共者
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G.	109
2	
2 . 論文標題	5.発行年
An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant Molecular Biology	523-531
**	
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s11103-021-01150-v	有
10.1007/311100-021-01100-9	. .
↑ ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Koo A.J., Arimura G.	109
2	F 36/-/-
	5 . 発行年
2.論义標題 Molecular biology of chemical defenses	2022年
Molecular biology of chemical defenses	2022年
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名	
Molecular biology of chemical defenses	2022年
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名	2022年 6 . 最初と最後の頁
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名 Plant Molecular Biology	2022年 6 . 最初と最後の頁 351-353
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名 Plant Molecular Biology 弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名 Plant Molecular Biology	2022年 6 . 最初と最後の頁 351-353
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名 Plant Molecular Biology	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名 Plant Molecular Biology	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名 Plant Molecular Biology 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名 Plant Molecular Biology	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無
Molecular biology of chemical defenses 3. 雑誌名 Plant Molecular Biology 弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名 Plant Molecular Biology 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名 Plant Molecular Biology	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する
Molecular biology of chemical defenses 3.雑誌名 Plant Molecular Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 有村源一郎,八須 匡和,仲千沙都,森源起	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻
Molecular biology of chemical defenses 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎,八須 匡和,仲千沙都,森源起 2 . 論文標題	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年
Molecular biology of chemical defenses 3. 雑誌名 Plant Molecular Biology 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 有村源一郎,八須 匡和,仲千沙都,森源起	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻
Molecular biology of chemical defenses 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 日本語文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎,八須 匡和,仲千沙都,森源起 2 . 論文標題 新規免疫活性化剤を用いたダイズの有機栽培システムの確立	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年 2022年
Molecular biology of chemical defenses 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 司載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎,八須 匡和,仲千沙都,森源起 2 . 論文標題 新規免疫活性化剤を用いたダイズの有機栽培システムの確立	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年
Molecular biology of chemical defenses 3. 雑誌名 Plant Molecular Biology 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 有村源一郎,八須 匡和,仲千沙都,森源起 2. 論文標題 新規免疫活性化剤を用いたダイズの有機栽培システムの確立	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年 2022年
Molecular biology of chemical defenses 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎,八須 匡和,仲千沙都,森源起 2 . 論文標題 新規免疫活性化剤を用いたダイズの有機栽培システムの確立 3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
Molecular biology of chemical defenses 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 葛載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎,八須 匡和,仲千沙都,森源起 2 . 論文標題 新規免疫活性化剤を用いたダイズの有機栽培システムの確立 3 . 雑誌名	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
Molecular biology of chemical defenses 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎,八須 匡和,仲千沙都,森源起 2 . 論文標題 新規免疫活性化剤を用いたダイズの有機栽培システムの確立 3 . 雑誌名 大豆たん白質研究	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 出版中
Molecular biology of chemical defenses 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 日戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎、八須 匡和、仲千沙都、森源起 2 . 論文標題 新規免疫活性化剤を用いたダイズの有機栽培システムの確立 3 . 雑誌名 大豆たん白質研究	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 出版中
Molecular biology of chemical defenses 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎,八須 匡和,仲千沙都,森源起 2 . 論文標題 新規免疫活性化剤を用いたダイズの有機栽培システムの確立 3 . 雑誌名 大豆たん白質研究	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 出版中
Molecular biology of chemical defenses 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 曷戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎、八須 匡和、仲千沙都、森源起 2 . 論文標題 新規免疫活性化剤を用いたダイズの有機栽培システムの確立 3 . 雑誌名 大豆たん白質研究	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 出版中 査読の有無
3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-022-01290-9 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎、八須 匡和、仲干沙都、森源起 2 . 論文標題 新規免疫活性化剤を用いたダイズの有機栽培システムの確立 3 . 雑誌名 大豆たん白質研究	2022年 6.最初と最後の頁 351-353 査読の有無 無 国際共著 該当する 4.巻 2022 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 出版中

1. 著者名	4. 巻 16
Teshima T., Funai R., Nakazawa T., Ito J., Utsumi T., Kakumyan P., Mukai H., Yoshiga T., Murakami R., Nakagawa K, Honda Y., Matsui K.	16
2.論文標題	5 . 発行年
Coprinopsis cinerea dioxygenase is an oxygenase forming 10(S)-hydroperoxide of linoleic acid,	2022年
essential for mushroom alcohol, 1-octen-3-ol synthesis 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
」 3.#単版で自 Journal of Biological Chemistry	102507
Southar of Brotogradi Glomistry	102007
	本生の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jbc.2022.102507	査読の有無 有
10.1016/j.jbc.2022.10250/	1 5
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
I.看有句 Matsui K., Engelberth J.	4 · 술 63
matour Kt, Engologith C.	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Green leaf volatiles – the forefront of plant responses against biotic attack	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant and Cell Physiology	1378-1390
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	│ │ 査読の有無
拘載論又のDOT (アンタルオ) シェクト誠別士) 10.1093/pcp/pcac117	直硫の有無
10.1095/ μομ/ μομοί 11/	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
・看自も Koeduka T., Takaishi M., Suzuki M., Nishihama R., Kohchi T., Uefune M., Matsui K.	4 · 글 39
	5.発行年
CRISPR/Cas9-mnediated disruption of ALLENE OXIDE SYNTHASE results in defective 12-oxo-	2022年
phytodienoic acid accumulation and reduced defense against spider mite (Tetranychus urticae) in	
liverwort (Marchantia polymorpha)	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant Biotechnology	191-194
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5511/plantbiotechnology.22.0328a	有
 オープンアクセス	国際共著
カープンテッピス 	-
1.著者名	4 . 巻
Fukuda K., Uefune M., Fukaki H., Yamauchi Y., Hara-Nishimura I., Ozawa R., Matsui K., Sugimoto	18
K., Okada K., Imai R., Takahashi K., Enami S., Wurst R., Takabayashi J. 2 .論文標題	5 . 発行年
্	2022年
Arabidopsis roots	·
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Biology Letters	20210629
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1098/rsb1.2021.0629	有
 オープンアクセス	国際共著
カープンテッピス 	- -
the state of the s	1

10.1038/s41419-022-05145-5 有		
Ntorru J.W., Ohnishi T., Katsunata F., Koeduka T., Matsui K.	1,著者名	4 . 巻
2 . 鈴文棒題 1-Octen-3-ol is formed from its primeveroside after mechanical wounding of soybean leaves 3 . 創語名 1-Octen-3-ol is formed from its primeveroside after mechanical wounding of soybean leaves 5 . 最初存置 2022年 2022年 251-561		
Octen-3-ol is formed from its primeveroside after mechanical wounding of soybean leaves 2022年 3. 補談音 1. 最初	Atordia J.M., Jillishi I., Katsumata I., Kocdaka I., Matsui K.	100
Octen-3-ol is formed from its primeveroside after mechanical wounding of soybean leaves 2022年 3. 補談音 1. 最初		
3 ・ 補誌名 Plant Molecular Biology	2.論文標題	5.発行年
3 ・ 補談名 Plant Molecular Biology	1-Octen-3-ol is formed from its primeyeroside after mechanical wounding of soybean leaves	2022年
Plant Molecular Biology 551-561 日報論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	Total of the formed from the primeter contact modulating of copyedan formed	2022
Plant Molecular Biology 551-561 日報論文の501 (デジタルオブジェクト識別子)	- 10.1.L	6 BARLEWS T
担議議会での001(デジタルオブジェクト識別子)	3.雜誌名	6.最例と最後の貝
担議議会での001(デジタルオブジェクト識別子)	Plant Molecular Biology	551-561
1. 日本名名 1		
1. 日本名名 1		
1. 日本名名 1		
1 著名名	掲載論文のDOI(デジタルオフジェクト識別子)	査読の有無
1 著名名	10.1007/s11103-021-01226-9	有
1 . 著者名 日本	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,,,
1 ・ 著名名 日本	+ =\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	三咖井
1 . 著名名 松井健二 4 . 巻 10	· · · · · · =· ·	国际共 者
松井健二 10 2 高文標題 括談	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
松井健二 10 2 高粱標題 4 表彰行年 2022年 2014年 2022年		
松井健二 10 2 高粱標題 4 表彰行年 2022年 2014年 2022年	4 艾 ·艾·艾·艾	4 *
2 ・論文標題		
植物が香可化合物を放散する仕組みとその意義、そしてその応用の可能性	松井健二	10
植物が香 J 化合物を放散する仕組みとその意義、そしてその応用の可能性		
植物が香 J 化合物を放散する仕組みとその意義、そしてその応用の可能性 2022年 3 . 雑誌名 JATAFFジャーナル	2 绘文価語	5
3 . 雑誌名		
過数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	植物が杳り化合物を放散する仕組みとその意義、そしてその応用の可能性	2022年
過数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		
過数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	3. 独社 <i>夕</i>	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著書名 松井健二 2 . 論文標題 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Aroma Research	JATAFFジャーナル	38-44
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著書名 松井健二 2 . 論文標題 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Aroma Research 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 129-136		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著書名 松井健二 2 . 論文標題 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Aroma Research 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 129-136		
## オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著書名 松井健二 2 . 論文標題 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Aroma Research 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 129-136	担制会さのDOL/デンタルナイン。カー地間フン	本芸の左仰
Table Ta		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	なし	無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オーゴンマクセフ	国際共革
1 . 著者名 松井健二 2 . 論文標題 みどりの香りの科学 -来し方、今、そして行く末- 3 . 雑誌名 Aroma Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1. 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 4 . 巻 13 5 . 発行年 2022年 2022年 6 . 最初と最後の頁 694		国际六名
松井健二 23 2 . 論文標題 みどりの香りの科学 ー来し方、今、そして行く末ー 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Aroma Research 6 . 最初と最後の頁 129-136 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 4 . 巻 13 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 6 . 最初と最後の頁 694 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 査読の有無 694	オーノンアクセスではない、又はオーノンアクセスが困難	-
松井健二 23 2 . 論文標題 みどりの香りの科学 ー来し方、今、そして行く末ー 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Aroma Research 6 . 最初と最後の頁 129-136 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 4 . 巻 13 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 6 . 最初と最後の頁 694 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 査読の有無 694		
松井健二 23 2 . 論文標題 みどりの香りの科学 ー来し方、今、そして行く末ー 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Aroma Research 6 . 最初と最後の頁 129-136 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 4 . 巻 13 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 6 . 最初と最後の頁 694 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 査読の有無 694	1 至去夕	/1
2. 論文標題 みどりの香りの科学 -来し方、今、そして行く末- 3. 雑誌名 Aroma Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1. 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2. 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3. 雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 -		
みどりの香りの科学 -来し方、今、そして行く末- 2022年 3 . 雑誌名 Aroma Research 6 . 最初と最後の頁 129-136 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス Jame 国際共著 - 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 4 . 巻 13 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 6 . 最初と最後の頁 694 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 査読の有無 6	松升健二	23
みどりの香りの科学 -来し方、今、そして行く末- 2022年 3 . 雑誌名 Aroma Research 6 . 最初と最後の頁 129-136 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス Jame 国際共著 - 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 4 . 巻 13 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 6 . 最初と最後の頁 694 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 査読の有無 6		
みどりの香りの科学 -来し方、今、そして行く末- 2022年 3 . 雑誌名 Aroma Research 6 . 最初と最後の頁 129-136 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス Jame 国際共著 - 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 4 . 巻 13 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 5 . 発行年 2022年 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 6 . 最初と最後の頁 694 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 査読の有無 6	2 論文標題	5 発行年
3.雑誌名 Aroma Research 6.最初と最後の頁 129-136 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 第一プンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2.論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3.雑誌名 Cell Death and Disease 「表現の方法を表現します。 「表現の方法を表現します。」 「表現の方法を表現します。」 「表現の方法を表現します。」 「表現の方法を表現します。」 「表現の音楽を表現します。」 「表現の方法を表現します。」 「表現の方法を表現	······	
Aroma Research 129-136 129-136 129-136 139-1	みとりの替りの科子 一米し方、ラ、そして11く木一	2022#
Aroma Research 129-136 129-136 129-136 139-1		
Aroma Research 129-136 129-136 129-136 139-1	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 -	Aroma Pasaarch	120_136
無 オープンアクセス 国際共著 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスが困難 - コープンアクログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ	ATOMA NESCATOR	129-130
無 オープンアクセス 国際共著 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスが困難 - コープンアクログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ		
無 カープンアクセス 国際共著 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスが困難 - コープンアクログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ		
無 オープンアクセス 国際共著 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - コープンアクセスが困難 - コープンアクログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ		
オープンアクセス 本一プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 2 3 4.巻 3 3 3 3 3 3 3 3 3	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
コ・著名名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 有		
コ・著名名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 有		
コ・著名名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 有		無
1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 有	なし	無
Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2.論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3.雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5	オープンアクセス	無
Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2.論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3.雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5	オープンアクセス	無
Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2.論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3.雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 有	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
2.論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways5.発行年 2022年3.雑誌名 Cell Death and Disease6.最初と最後の頁 694掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5査読の有無 有	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 -
OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3.雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 有	なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K.,	国際共著 -
OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3.雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 有	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F.	無 国際共著 - 4.巻 13
oxygen species-associated cell death pathways 6.最初と最後の頁 3.雑誌名 6.94 Kell Death and Disease 694 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1038/s41419-022-05145-5 有	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F.	無 国際共著 - 4.巻 13
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 Cell Death and Disease 694 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1038/s41419-022-05145-5 有	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 13 5.発行年
Cell Death and Disease 694 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5 査読の有無 有 有	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive	無 国際共著 - 4.巻 13 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1038/s41419-022-05145-5 有	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways	無 国際共著 - 4.巻 13 5.発行年 2022年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1038/s41419-022-05145-5 有	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways	無 国際共著 - 4.巻 13 5.発行年 2022年
10.1038/s41419-022-05145-5 有	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
10.1038/s41419-022-05145-5 有	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
10.1038/s41419-022-05145-5 有	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁
10.1038/s41419-022-05145-5 有	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease	無 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 694
	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 694
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease	無 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 694
オーフンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease	無 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2022年 6 . 最初と最後の頁 694
	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-022-05145-5	無 国際共著 - 4.巻 13 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 694 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Oikawa D., Gi M., Kosako H., Shimizu K., Takahashi H., Shiota M., Hosomi S., Komakura K., Wanibuchi H., Tsuruta D., Sawasaki T., Tokunaga F. 2 . 論文標題 OTUD1 deubiquitinase regulates NF- B- and KEAP1-mediated inflammatory responses and reactive oxygen species-associated cell death pathways 3 . 雑誌名 Cell Death and Disease	無 国際共著 - 4.巻 13 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 694

Suginyama S., Yamada K., Denda M., Yamanaka S., Ozawa S., Morishita R., Sawasaki T. 12 2. 論文標題 5. 第行年 2022年 15. 第一元 15.	. #46	4 344
2 論文構題 CF-PPID technology based on cell-free protein array and proximity biotinylation enzyme for in vitro direct interactions analysis 3 随話名 Scientific Reports 和力プアクセス オープンアクセス 1 養者名 Cnosato H., Fujimoto S., Higami T., Sakamoto T., Yamada A., Suzuki T., Ozawa R., Matsunaga S., Seki M., Ueda M., Sako K., Galis I., Arimura G. 2 論文機器 Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation 2022年 3 雑誌名 Plant Physiology Plant Physiology 1 著名名	1.著者名	4 . 巻
(F-PPID technology based on cell-free protein array and proximity biotinylation enzyme for in vitro direct interactione analysis	Sugiyama S., Yamada K., Denda M., Yamanaka S., Ozawa S., Morishita R., Sawasaki T.	12
(F-PPID technology based on cell-ire protein array and proximity biotinylation enzyme for in vitro direct interactione analysis (1.6 最初と最後の頁 10592	2 論文種類	5 発行任
Vitro direct interactore analysis Solicitific Reports Colorado Colo		
8 競談名 Scientific Reports 10592 105		2022年
10592	,	
10592	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
西蔵論文の001(デジタルオブジェクト提別子)		
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	outonttille nepolits	10002
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	担動会立のDOL(ごごね」ますごことし無明フン	木羊の左毎
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 著名名 Oncsa O H., Fujinoto G., Higani T., Sakanoto T., Yanada A., Suzuki T., Ozawa R., Matsunaga S., Seki H., Lieda M., Sako K., Galis I., Arimura G. 2 論文種類 Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation 2022年 20		
1 著名名 Onosato H., Fujinoto G., Higami T., Sakanoto T., Yanada A., Suzuki T., Ozawa R., Matsunaga S., Seki H., Ueda M., Sako K., Galis I., Arimura G. 2 請及接題 Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation 3 雑誌名 Plant Physiology 日本 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 日本 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 日本 子のよいな問題 日本 おいまいましましましましましましましましましましましましましましましましましまし	10.1038/s41598-022-14872-w	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 著名名 Onosato H., Fujinoto G., Higami T., Sakamoto T., Yamada A., Suzuki T., Ozawa R., Matsunaga S., Saki M., Ueda M., Sako K., Galis I., Arimura G. 2 論文榜題 Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation 2 論文榜題 Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation 2 論文榜題 Plant Physiology	オープンアクセス	国際共著
Onosato H., Fujinto G., Higani T., Sakanoto T., Yamada A., Suzuki T., Ozawa R., Matsunaga S., Seki M., Ueda M., Sako K., Galis I., Arimura G. 2. 論文標題 Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation 3. 雜誌名 Plant Physiology 「表着名 Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyana M., Nishiyana M., Nishiyana G., Sawasaki T., Arimura G. 2. 論文課題 Plant Journal 「表着名 Plant Journal 「表述の有無 有 オープンアクセス 「表述の有無 有 「表述のののののののののののののののののののでは、対しオープンアクセスが困難 「表述の有無 有 「表述の表述を表述の表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Onosato H., Fujinto G., Higani T., Sakanoto T., Yamada A., Suzuki T., Ozawa R., Matsunaga S., Seki M., Ueda M., Sako K., Galis I., Arimura G. 2. 論文標題 Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation 3. 雜誌名 Plant Physiology 「表着名 Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyana M., Nishiyana M., Nishiyana G., Sawasaki T., Arimura G. 2. 論文課題 Plant Journal 「表着名 Plant Journal 「表述の有無 有 オープンアクセス 「表述の有無 有 「表述のののののののののののののののののののでは、対しオープンアクセスが困難 「表述の有無 有 「表述の表述を表述の表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	1 英名夕	л X
Seki M., Ueda M., Sako K., Šalis I., Arimura G. 2. 論文構塑 Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation 2022年 3. 雑誌名 Plant Physiology 6. 最初と最後の頁 in press 信義論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 2 意読の有無 有 日本・プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著名名 Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyana M., Nishiyana C., Sawasaki T., Arimura G. 2 : 論文末層 1		
2. 論文標題 Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation 3. 雑誌名 Plant Physiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/plphys/kiac077 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyama M., Nishiyama C., Sawasaki T., Arimura G. 2. 論文標題 Immune gene activation by NPR and TGA transcriptional regulators in the model monocot Brachypodium distachyon 3. 辨試名 Plant Journal 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2. 論文標題 A - ガンアクセス 1. 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2. 論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3. 辨試名 Plant Molecular Biology 最親論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 1. 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 3. 辨試名 Plant Molecular Biology 最親論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y 自際共著	Onosato H., Fujimoto G., Higami T., Sakamoto T., Yamada A., Suzuki T., Ozawa R., Matsunaga S., Seki M., Ueda M., Sako K., Galis I., Arimura G.	-
Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation 2022年 3. 雑誌名 Plant Physiology 6. 最初と最後の頁 in press 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2.論文標題	5 . 発行年
Plant Physiology in press in	Sustained defense response via volatile signaling and its epigenetic transcriptional regulation	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 1. 著者名 5. 新北原理 Flammune gene activation by NPR and TGA transcriptional regulators in the model monocot But Math Journal 「大きを表しているのDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 1. 著者名 1. 著者名 1. 新北原理 But Math Journal 「大きを表しているのDOI(デジタルオブジェクト識別子) 1. 著者名 1. 本書名 1. 本ープンアクセス 1. 本書名 1. 本書 1. 本書名 1. 本書	** *** * *	
オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyama M., Nishiyama C., Sawasaki T., Arimura G. 2. 論文標題 「	Train Thyorotogy	51000
オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyama M., Nishiyama C., Sawasaki T., Arimura G. 2. 論文標題 「	担動や立のDOL / ごごクリナゴご - カト強叫フ)	木羊の左無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyama M., Nishiyama C., Sawasaki T., Arimura G. 2. 論文種題 Immune gene activation by NPR and TGA transcriptional regulators in the model monocot Brachypodium distachyon 3. 雑誌名 Plant Journal 編載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/tpj.15681 1. 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2. 論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3. 雑誌名 Plant Molecular Biology 編載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y 有 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4 . 巻 10 Nishiyana M., Nishiyana C., Sawasaki T., Arimura G. 2 . 論文程題	10.1093/plphys/kiac077	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 4 . 巻 10 Nishiyana M., Nishiyana C., Sawasaki T., Arimura G. 2 . 論文程題	オープンアクセス	国際共著
1.著者名 Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyama M., Nishiyama C., Sawasaki T., Arimura G. 2.論文標題 Immune gene activation by NPR and TGA transcriptional regulators in the model monocot Brachypodium distachyon 3.雑誌名 Plant Journal a 読述のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tpj.15681 11. 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2.論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants a 計画		ロ かハコ -
Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyama M., Nishiyama C., Sawasaki T., Arimura G. 2	コーフン・/ これではなく 人はコーフン・/ これは 四次	
Shimizu K., Suzuki H., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyama M., Nishiyama C., Sawasaki T., Arimura G. 2	1 . 著者名	4 . 巻
Nishiyama M., Nishiyama C., Sawasaki T., Arimura G. 2. 論文標題 Immune gene activation by NPR and TGA transcriptional regulators in the model monocot Brachypodium distachyon 3. 雑誌名 Plant Journal 福載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tpj.15681 1. 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2. 論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3. 雑誌名 Plant Molecular Biology 西藤の有無 10.1007/s11103-021-01150-y 西藤の有無 10.1007/s11103-021-01150-y 西藤の有無 10.1007/s11103-021-01150-y 国際共著		
2. 論文標題 Immune gene activation by NPR and TGA transcriptional regulators in the model monocot Brachypodium distachyon 3. 雑誌名 Plant Journal 「本づンアクセス コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。以はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。「大学を表現である。「おきないない。」「はないないないない。」「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない		10
Immune gene activation by NPR and TGA transcriptional regulators in the model monocot Brachypodium distachyon 3. 雑誌名 Plant Journal 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1111/tpj.15681 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2. 論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3. 雑誌名 Plant Molecular Biology 最載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y 有 2022年 高藤の有無 有 オープンアクセス 国際共著		5 张行年
Brachypodium distachyon 3 . 雑誌名 Plant Journal 6 . 最初と最後の頁 470-481 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tpj.15681 オープンアクセス 1 . 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2 . 論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y a 語の有無 有 オープンアクセス 国際共著		
3 . 雑誌名 Plant Journal 日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tpj.15681 オープンアクセス コ際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2 . 論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y 「査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著		2022年
Plant Journal 470-481 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Brachypodium distachyon	
Plant Journal 470-481 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/tpj.15681		
10.1111/tpj.15681 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 国際共著 - Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2. 論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 5.発行年 2022年 3.雑誌名 Plant Molecular Biology 「市 press 情報の in press 看 カープンアクセス 国際共著	Train Godina.	110 101
10.1111/tpj.15681 有 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 国際共著 - Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2. 論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 5.発行年 2022年 3.雑誌名 Plant Molecular Biology 「市 press 情報の in press 電話の有無 10.1007/s11103-021-01150-y 有 国際共著	掲載論文のDOL(デジタルオブジェクト譜印子)	査読の有無
オープンアクセス コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難コープンアクセスを関するに対しているに対しまするに対しているに対しではないではないではないではないのではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2 . 論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 6 . 最初と最後の頁 in press 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	TU.TTT1/tpj.1508T	有
1 . 著者名 Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2 . 論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 信載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y 有 本ープンアクセス 4 . 巻 -	オープンアクセス	国際共著
Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2.論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3.雑誌名 Plant Molecular Biology 超載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y 有 本ープンアクセス 国際共著	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u> </u>
Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G. 2.論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3.雑誌名 Plant Molecular Biology 超載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y 有 本ープンアクセス 国際共著	1	Λ 共
2.論文標題 An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants5.発行年 2022年3.雑誌名 Plant Molecular Biology6.最初と最後の頁 		# · 경
An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3. 雑誌名 Plant Molecular Biology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y 有 本ープンアクセス 2022年 6. 最初と最後の頁 in press 査読の有無 有	ISUZUKI C., Hachisu M., Iwabe K., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G.	-
An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants 3. 雑誌名 Plant Molecular Biology 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y 有 本ープンアクセス 2022年 6. 最初と最後の頁 in press 査読の有無 有	2 論文標題	5 発行年
3 . 雑誌名 Plant Molecular Biology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01150-y 有 国際共著		
Plant Molecular Biology in press 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.1007/s11103-021-01150-y 有 オープンアクセス 国際共著	An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants	2022年
Plant Molecular Biology in press 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 10.1007/s11103-021-01150-y 有 オープンアクセス 国際共著	3 2 2 4 注 2	6 是初と是後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1007/s11103-021-01150-y 有		
10.1007/s11103-021-01150-y 有 オープンアクセス 国際共著	Plant Molecular Biology	in press
10.1007/s11103-021-01150-y 有 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセス 国際共著	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	査読の有無
	10.1007/s11103-021-01150-y	有
	オープンアクセス	国際共革
		四际六百

1.著者名	4.巻
Morita M., Yamasaki Y., Shinya T., Galis I., Arimura G.	16
2.論文標題 Phytohormone elicitation in maize by oral secretions of specialist Mythimna separata and generalist Spodoptera litura	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Journal of Plant Interactions	6.最初と最後の頁 587-590
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/17429145.2021.2006334	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
Yamasaki Y., Sumioka H., Takiguchi M., Uemura T., Kihara Y., Shinya T., Galis I. Arimura G.	231
2.論文標題 Phytohormone-dependent plant defense signaling orchestrated by oral bacteria of the herbivore Spodoptera litura	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 New Phytologist	6 . 最初と最後の頁 2029-2038
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/nph.17444	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
Ntoruru, J.M., Ohnishi, T., Katsumata, F., Koeduka, T., Matsui, K.	一
2.論文標題	5 . 発行年
1-Octen-3-ol is formed from its primeveroside after mechanical wounding of soybean leaves	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant Molecular Biology	in press
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s11103-021-01226-9	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1. 著者名	4.巻
Sugimoto, K., Iijima, Y., Takabayashi, J., Matsui, K.	12
2.論文標題	5 . 発行年
Processing of airborne green leaf volatiles for their glycosylation in the exposed plants	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Plant Science	721572
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fpls.2021.721572	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1.著者名 Tanaka, M., Koeduka, T., Matsui, K.	4.巻 12
2.論文標題 Green leaf volatile-burst in Selaginella moellendorffii	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Frontiers in Plant Science	6 . 最初と最後の頁 731694
19 #84	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpls.2021.731694	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Khuna, S., Suwannarach, N., Kumla, J., Frisvad, J.C., Matsui, K., Nuangmek, W., Lumyong, S.	4.巻 12
2.論文標題 Growth enhancement of Arabidopsis (Arabidopsis thaliana) and onion (Allium cepa) with inoculation of three newly identified mineral-solubilizing fungi in the genus Aspergillus section Nigri	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Frontiers in Microbiology	6 . 最初と最後の頁 705896
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2021.705896	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1.著者名 Koeduka, T., Takarada, S., Fujii, K., Sugiyama, A., Yazaki, K., Nishihara, M., Matsui, K.	4.巻 13
2.論文標題 Production of raspberry ketone by redirecting the metabolic flux to the phenylpropanoid pathway in tobacco plants	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Metabolic Engineering Communications	6 . 最初と最後の頁 e00180
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.mec.2021.e00180	査読の有無 有
	_
10.1016/j.mec.2021.e00180 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 -
10.1016/j.mec.2021.e00180 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 Takizawa, R., Hatada, M., Moriwaki, R., Abe, S., Yamashita, Y., Arimitsu, R., Yamato, K.T.,	有
10.1016/j.mec.2021.e00180 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Takizawa, R., Hatada, M., Moriwaki, R., Abe, S., Yamashita, Y., Arimitsu, R., Yamato, K.T., Nishihama. R., Kohchi, T., Koeduka, T., Chen, F., Matsui, K. 2. 論文標題 Fungal-type terpene synthases in Marchantia polymorpha are involved in sesquiterpene	有 国際共著 - 4.巻
10.1016/j.mec.2021.e00180 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Takizawa, R., Hatada, M., Moriwaki, R., Abe, S., Yamashita, Y., Arimitsu, R., Yamato, K.T., Nishihama. R., Kohchi, T., Koeduka, T., Chen, F., Matsui, K. 2. 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 62 5.発行年
10.1016/j.mec.2021.e00180 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Takizawa, R., Hatada, M., Moriwaki, R., Abe, S., Yamashita, Y., Arimitsu, R., Yamato, K.T., Nishihama. R., Kohchi, T., Koeduka, T., Chen, F., Matsui, K. 2. 論文標題 Fungal-type terpene synthases in Marchantia polymorpha are involved in sesquiterpene biosynthesis in oil body cells 3. 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 62 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.1016/j.mec.2021.e00180 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Takizawa, R., Hatada, M., Moriwaki, R., Abe, S., Yamashita, Y., Arimitsu, R., Yamato, K.T., Nishihama. R., Kohchi, T., Koeduka, T., Chen, F., Matsui, K. 2. 論文標題 Fungal-type terpene synthases in Marchantia polymorpha are involved in sesquiterpene biosynthesis in oil body cells 3. 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 62 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Takizawa, R., Hatada, M., Moriwaki, R., Abe, S., Yamashita, Y., Arimitsu, R., Yamato, K.T., Nishihama. R., Kohchi, T., Koeduka, T., Chen, F., Matsui, K. 2 . 論文標題 Fungal-type terpene synthases in Marchantia polymorpha are involved in sesquiterpene biosynthesis in oil body cells 3 . 雑誌名 Plant and Cell Physiology	有 国際共著 - 4 . 巻 62 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 528-537 査読の有無

. ***	. 24
1. 著者名	4.巻
手嶋琢、稲垣賢二、松井健二	59
3 - *	F 36/-/-
2.論文標題	5.発行年
ダイズL-メチオニン代謝制御の新しい因子の発見 L-メチオニン -リアーゼがL-メチオニン過剰蓄積を防	2021年
\$ 1444 #7	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
化学と生物	449-457
To ship a siling a si	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Yamanaka S, Horiuchi Y, Matsuoka S, Kido K, Nishino K, Maeno M, Shibata N, Kosako H, Sawasaki	13
T.	
2 . 論文標題	5 . 発行年
A proximity biotinylation-based approach to identify protein-E3 ligase interactions induced by	2022年
PROTACs and molecular glues	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Nature Communications	183
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41467-021-27818-z	有
	13
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	4 . 巻
다. 점询句 Shioya R, Yamada K, Kido K, Takahashi H, Nozawa A, Kosako H, Sawasaki T.	4 · 글 592
Onioya K, Tamada K, Kido K, Takanasin II, Nozawa A, Nosako II, Sawasaki T.	332
2.論文標題	5.発行年
······	3 . 光11年 2021年
A simple method for labeling proteins and antibodies with biotin using the proximity	2021年
biotinylation enzyme TurboID 3.雑誌名	6 早知レ星後の百
	6.最初と最後の頁
Biochemical and Biophysical Research Communications	54-59
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の方無
	査読の有無
10.1016/j.bbrc.2021.12.109	有
+ 1\17/147	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E.	- 4.巻 11
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題	- 4 . 巻
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E.	- 4.巻 11
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題 AGIA Tag System for Ultrastructural Protein Localization Analysis in Blood-Stage Plasmodium falciparum	- 4.巻 11 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題 AGIA Tag System for Ultrastructural Protein Localization Analysis in Blood-Stage Plasmodium	- 4.巻 11 5.発行年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題 AGIA Tag System for Ultrastructural Protein Localization Analysis in Blood-Stage Plasmodium falciparum 3 . 雑誌名	- 4.巻 11 5.発行年 2021年
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題 AGIA Tag System for Ultrastructural Protein Localization Analysis in Blood-Stage Plasmodium falciparum	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題 AGIA Tag System for Ultrastructural Protein Localization Analysis in Blood-Stage Plasmodium falciparum 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題 AGIA Tag System for Ultrastructural Protein Localization Analysis in Blood-Stage Plasmodium falciparum 3 . 雑誌名 Frontiers in Cellular and Infection Microbiology	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題 AGIA Tag System for Ultrastructural Protein Localization Analysis in Blood-Stage Plasmodium falciparum 3 . 雑誌名 Frontiers in Cellular and Infection Microbiology	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 777291
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題 AGIA Tag System for Ultrastructural Protein Localization Analysis in Blood-Stage Plasmodium falciparum 3 . 雑誌名 Frontiers in Cellular and Infection Microbiology	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 777291
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題 AGIA Tag System for Ultrastructural Protein Localization Analysis in Blood-Stage Plasmodium falciparum 3 . 雑誌名 Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fcimb.2021.777291	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 777291 査読の有無 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Morita M, Kanoi BN, Shinzawa N, Kubota R, Takeda H, Sawasaki T, Tsuboi T, Takashima E. 2 . 論文標題 AGIA Tag System for Ultrastructural Protein Localization Analysis in Blood-Stage Plasmodium falciparum 3 . 雑誌名 Frontiers in Cellular and Infection Microbiology	- 4 . 巻 11 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 777291

1 . 著者名	4 . 巻
Takaoka Y, Suzuki K, Nozawa A, Takahashi H, Sawasaki T, Ueda M.	298
2.論文標題 Protein-protein interactions between jasmonate-related master regulator MYC and transcriptional mediator MED25 depend on a short binding domain	5.発行年 2022年
3.雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6.最初と最後の頁 101504
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jbc.2021.101504	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Valea I, Motegi A, Kawamura N, Kawamoto K, Miyao A, Ozawa R, Takabayashi J, Gomi K, Nemoto K, Nozawa A, Sawasaki T, Shinya T, Galis I, Miyamoto K, Nojiri H, Okada K.	4 . 巻 -
2.論文標題 The rice wound-inducible transcription factor RERJ1 sharing same signal transduction pathway with OsMYC2 is necessary for defense response to herbivory and bacterial blight	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 Plant Molecular Biology	6.最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11103-021-01186-0	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Inagaki H, Miyamoto K, Ando N, Murakami K, Sugisawa K, Morita S, Yumoto E, Teruya M, Uchida K, Kato N, Kaji T, Takaoka Y, Hojo Y, Shinya T, Galis I, Nozawa A, Sawasaki T, Nojiri H, Ueda M, Okada K.	4.巻 12
2 . 論文標題 Deciphering OPDA signaling components in the momilactone-producing moss Calohypnum plumiforme	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Frontiers in Plant Science	6.最初と最後の頁 688565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpls.2021.688565	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Jeremiah SS, Miyakawa K, Matsunaga S, Nishi M, Kudoh A, Takaoka A, Sawasaki T, Ryo A.	4.巻 12
2.論文標題 Cleavage of TANK-binding kinase 1 by HIV-1 protease triggers viral innate immune evasion	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Frontiers in Microbiology	6.最初と最後の頁 643407
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2021.643407	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

1.著者名	4.巻
澤崎達也	6
2	F 384-7-
2. 論文標題	5.発行年
近位依存性ビオチン化酵素によるタンパク質相互作用解析	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Proteome Letters	9-16
FIOTEONIE LETTEIS	9-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.14889/jpros.6.1_9	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英老々	4 . 巻
1. 著者名	
Yamasak Y., Sumioka H., Takiguchi M., Uemura T., Kihara Y., Galis I., Shinya T., Arimura G.	-
2 . 論文標題	5.発行年
Phytohormone-dependent plant defense signaling orchestrated by oral bacteria of the herbivore	2021年
Spodoptera litura	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
New Phytologist	in press
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
なし	有
4 U	je je
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Tsuzuki C., Hachisu M., Iwabe R., Nakayama Y., Nonaga Y., Sukegawa S., Horito S., Arimura G.	-
2.論文標題	5 . 発行年
An amino acid ester of menthol elicits defense responses in plants	2021年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant Molecular Biology	in press
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1007/s11103-021-01150-y	有
10.1007/011100 021 01100 y	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1. 著者名	4 . 巻
「・有有句 Rim H., Hattori S., Arimura G.	4 · 공 10
NIIII II., HALLOIT 3., ALTIIIUTA U.	10
2 . 論文標題	5.発行年
Mint companion plants enhance the attraction of the generalist predator Nesidiocoris tenuis	2020年
according to its experiences of conspecific mint volatiles	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	2078
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1038/s41598-020-58907-6	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
3 777 2723 273 (372, 23)	1

1.著者名	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4.巻
Takafuii K Dim II Kawayahi K Muijana K Chimakawa C Anda V Chimiiri K Calia I	10
Takafuji K., Rim H., Kawauchi K., Mujiono K., Shimokawa S., Ando Y., Shiojiri K., Galis I.,	10
Arimura G.	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Evidence that ERF transcriptional regulators serve as possible key molecules for natural	2020年
variation in defense against herbivores in tall goldenrod	
<u> </u>	c = = += + = - = -
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	5352
	木芸の左仰
	査読の有無
10.1038/s41598-020-62142-4	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
オープンデクセスとしている(また、この子をこのる)	-
1.著者名	4.巻
Uemura T., Hachisu M., Desaki Y., Ito A., Hoshino R., SanoY., Nozawa A., Mujiono K., Galis I.,	3
Yoshida A., Nemoto K., Miura S., Nishiyama M., Nishiyama C., Horito S., Sawasaki T., Arimura G.	
rosinua A., Nemoto K., witula S., Nishiyama W., Nishiyama C., Notito S., Sawasaki I., Alimula G.	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Soy and Arabidopsis receptor-like kinases respond to polysaccharide signals from Spodoptera	2020年
species and mediate herbivore resistance	20204
	6 B40 - 5 //
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Communications Biology	224
	*** o + m
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s42003-020-0959-4	有
オ ープンアクセス	国際共著
· · · · · - · ·	国际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	. 24
1.著者名	14. 春
	4.巻
1 . 著者名 Arimura G.	4 . 春 26
Arimura G.	26
—	_
Arimura G. 2.論文標題	5.発行年
Arimura G.	26
Arimura G. 2 . 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores	26 5.発行年 2021年
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Arimura G. 2.論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores	26 5.発行年 2021年
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 有村源一郎	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 3. 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 1ープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 有村源一郎 2. 論文標題	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 有村源一郎	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 有村源一郎 2. 論文標題	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 3載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1. 著者名 有村源一郎 2. 論文標題 植物の害虫エリシター認識システムの解明と産業利用イノベーション	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2020年
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science お動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 . 著者名 有村源一郎 2. 論文標題 植物の害虫エリシター認識システムの解明と産業利用イノベーション 3. 雑誌名	26 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 有村源一郎 2. 論文標題 植物の害虫エリシター認識システムの解明と産業利用イノベーション	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2020年
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 有村源一郎 2. 論文標題 植物の害虫エリシター認識システムの解明と産業利用イノベーション 3. 雑誌名	26 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 場載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 有村源一郎 2. 論文標題 植物の害虫エリシター認識システムの解明と産業利用イノベーション 3. 雑誌名	26 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2020年 6.最初と最後の頁
Arimura G. 2 . 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3 . 雑誌名 Trends in Plant Science B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎 2 . 論文標題 植物の害虫エリシター認識システムの解明と産業利用イノベーション 3 . 雑誌名 バイオサイエンスとインダストリー	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 490-491
Arimura G. 2 . 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3 . 雑誌名 Trends in Plant Science 弱戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎 2 . 論文標題 植物の害虫エリシター認識システムの解明と産業利用イノベーション 3 . 雑誌名 パイオサイエンスとインダストリー 弱戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 78 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 490-491 査読の有無
Arimura G. 2. 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3. 雑誌名 Trends in Plant Science 場載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 有村源一郎 2. 論文標題 植物の害虫エリシター認識システムの解明と産業利用イノベーション 3. 雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 490-491
Arimura 6. 2 . 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3 . 雑誌名 Trends in Plant Science 3 . 雑誌名 Trends in Plant Science 4 カープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎 2 . 論文標題 植物の害虫エリシター認識システムの解明と産業利用イノベーション 3 . 雑誌名 バイオサイエンスとインダストリー 3 . 雑誌名 いて、オープンスとインダストリー 3 . 雑誌名	26 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 490-491 査読の有無 無
Arimura G. 2 . 論文標題 Making sense of the way plants sense herbivores 3 . 雑誌名 Trends in Plant Science 弱戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tplants.2020.11.001 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 有村源一郎 2 . 論文標題 植物の害虫エリシター認識システムの解明と産業利用イノベーション 3 . 雑誌名 パイオサイエンスとインダストリー 弱戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 288-298 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 78 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 490-491

1.著者名	4.巻
有村源一郎,宮永正斗,八須匡和	37
2 . 論文標題	5 . 発行年
植物香気成分とテルペン誘導体の免疫活性化機能	2020年
0. 1844 61	6 BM BW 6 F
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Bio Industry	10-16
·	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
4.0	////
オープンアクセス	
· · · · · · = · ·	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Jatuwong K., Kumla J., Suwannarach N., Matsui K., Lumyong S.	6
Saturding K., Kumita S., Sahaimataon K., Hatsai K., Edmyong S.	
2	F 整体生
2 . 論文標題	5.発行年
Bioprocessing of agricultural residues as substrates and optimal conditions for phytase	2020年
production of chestnut mushroom, pholiota adiposa, in solid state fermentation	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Fungi	1-21
odinar or rangi	' - '
相掛合かのロノノブックリナブックリナガッフン	本芸の左仰
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/jof6040384	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
S S S S C C C C C C C C C C C C C C C C	#X-1 / G
	4 . 巻
	_
Phoka N., Suwannarach N., Lumyong S., Ito S., Matsui K., Arikit S., Sunpapao A.	6
2.論文標題	5.発行年
Role of volatiles from the endophytic fungus trichoderma asperelloides psu-p1 in biocontrol	2020年
potential and in promoting the plant growth of arabidopsis thaliana	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Fungi	1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	▲ 査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/jof6040341	査読の有無有
10.3390/jof6040341	有
10.3390/jof6040341 オープンアクセス	有国際共著
10.3390/jof6040341	有
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 該当する
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名	有国際共著
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 該当する
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名	有 国際共著 該当する 4.巻
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K.	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2 . 論文標題	有 国際共著 該当する 4.巻 252 5.発行年
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2. 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2. 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252 5 . 発行年 2020年
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2. 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers 3. 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2. 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252 5 . 発行年 2020年
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2. 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers 3. 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2. 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers 3. 雑誌名	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2 . 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers 3 . 雑誌名 Journal of Plant Physiology	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 153245
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2 . 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers 3 . 雑誌名 Journal of Plant Physiology	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 153245 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2 . 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers 3 . 雑誌名 Journal of Plant Physiology	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 153245
10.3390/jof6040341 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2. 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers 3. 雑誌名 Journal of Plant Physiology 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jplph.2020.153245	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 153245 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Koeduka T., Ueyama Y., Kitajima S., Ohnishi T., Matsui K. 2 . 論文標題 Molecular cloning and characterization of UDP-glucose: Volatile benzenoid/phenylpropanoid glucosyltransferase in petunia flowers 3 . 雑誌名 Journal of Plant Physiology	有 国際共著 該当する 4 . 巻 252 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 153245 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Teshima T., Yamada N., Yokota Y., Sayama T., Inagaki K., Koeduka T., Uefune M., Ishimoto M.,	183
Matsui K.	
2.論文標題	5 . 発行年
Suppressed methionine -lyase expression causes hyperaccumulation of s-methylmethionine in	2020年
soybean seeds	2020-
	6 見知に見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Plant Physiology	943-956
To ship a 1	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1104/pp.20.00254	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	_
1. 著者名	4 . 巻
Khunnamwong P., Lertwattanasakul N., Jindamorakot S., Suwannarach N., Matsui K., Limtong S.	65
Midmamong 1., Editwattanasakut k., Sindamorakot G., Guwannarakit k., matsur k., Elimtong G.	
2.論文標題	5.発行年
Evaluation of antagonistic activity and mechanisms of endophytic yeasts against pathogenic	2020年
fungi causing economic crop diseases	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Folia Microbiologica	573-590
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s12223-019-00764-6	有
10.1.00.1.0.1.2.2.0 0.1.0 0.1.0 0.1.0	13
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オーノンテッピス こはない、又はオーノンテッピ人が凶難	設当りる
	. "
1. 著者名	4 . 巻
Shiojiri K., Ozawa R., Yamashita K., Uefune M., Matsui K., Tsukamoto C., Takabayashi J.	36
2 . 論文標題	5.発行年
Exposure to artificially damaged goldenrod volatiles increases saponins in seeds of field-grown	2020年
soybean plants	
	6 最初と最後の百
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
	6 . 最初と最後の頁 7-10
3 . 雑誌名	
3.雑誌名 Phytochemistry Letters	7-10
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	7-10 査読の有無
3.雑誌名 Phytochemistry Letters	7-10
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	7-10 査読の有無 有
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス	7-10 査読の有無
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytoI.2020.01.014	7-10 査読の有無 有
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス	7-10 査読の有無 有
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytoI.2020.01.014 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	7-10 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytoI.2020.01.014 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	7-10 査読の有無 有 国際共著 -
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytoI.2020.01.014 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	7-10 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kakumyan P., Suwannarach N., Kumla J., Saichana N., Lumyong S., Matsui K.	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytoI.2020.01.014 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kakumyan P., Suwannarach N., KumIa J., Saichana N., Lumyong S., Matsui K.	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 65-70
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 65-70 査読の有無
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kakumyan P., Suwannarach N., Kumla J., Saichana N., Lumyong S., Matsui K. 2.論文標題 Determination of volatile organic compounds in the stinkhorn fungus Pseudocolus fusiformis in different stages of fruiting body formation 3.雑誌名 Mycoscience	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 65-70
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kakumyan P., Suwannarach N., Kumla J., Saichana N., Lumyong S., Matsui K. 2.論文標題 Determination of volatile organic compounds in the stinkhorn fungus Pseudocolus fusiformis in different stages of fruiting body formation 3.雑誌名 Mycoscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.myc.2019.11.001	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 65-70 査読の有無 有
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kakumyan P., Suwannarach N., Kumla J., Saichana N., Lumyong S., Matsui K. 2.論文標題 Determination of volatile organic compounds in the stinkhorn fungus Pseudocolus fusiformis in different stages of fruiting body formation 3.雑誌名 Mycoscience 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.myc.2019.11.001 オープンアクセス	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 65-70 査読の有無 有
3.雑誌名 Phytochemistry Letters 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.phytol.2020.01.014 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kakumyan P., Suwannarach N., Kumla J., Saichana N., Lumyong S., Matsui K. 2.論文標題 Determination of volatile organic compounds in the stinkhorn fungus Pseudocolus fusiformis in different stages of fruiting body formation 3.雑誌名 Mycoscience 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.myc.2019.11.001	7-10 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 61 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 65-70 査読の有無 有

1 . 著者名 Kido K., Yamanaka S., Nakano S., Motani K., Shinohara S., Nozawa A., Kosako H., Ito S., Sawasaki T	4.巻 9
2.論文標題	5.発行年
AirID, a novel proximity biotinylation enzyme, for analysis of protein-protein interactions	2020年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
Elife	e54983
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.7554/eLife.54983	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Miyoshi S., Tokunaga S., Ozawa T., Takeda H., Aono M., Miyoshi T., Kishi H., Muraguchi A.,	15
Shimizu S.I., Nozawa A., Sawasaki T.	
2.論文標題	5.発行年
Production of a rabbit monoclonal antibody for highly sensitive detection of citrus mosaic	2020年
virus and related viruses	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
PLoS One	e0229196
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1371/journal.pone.0229196	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

〔学会発表〕 計51件(うち招待講演 10件/うち国際学会 3件)

1 . 発表者名

遠藤有希子,田中未来,谷村香織,出崎能丈,上村卓矢,小澤理香,Maffei Massimo,新屋友規,Galis Ivan,有村源一郎

2 . 発表標題

宿主と環境の変化において防御応答の調整を担うハダニエリシター・テトラニン

3 . 学会等名

日本昆虫学会第84回大会・第68回日本応用動物昆虫学会大会 合同大会

4.発表年

2024年

1.発表者名

黒川友梨香,中田みのり,橋爪裕人,八須匡和,出﨑能丈,根本圭一郎,野澤彰,澤崎達也,上村卓矢,有村源一郎

2 . 発表標題

シロイヌナズナにおけるハスモンヨトウの活性型糖エリシター受容機構モデル

3.学会等名

日本昆虫学会第84回大会・第68回日本応用動物昆虫学会大会 合同大会

4 . 発表年

2024年

1 . 発表者名 有村源一郎
1 月 1 1 / 1 / 1 / 1
2.発表標題
シロイヌナズナ ヨトウ間相互作用におけるエピジェネティック転写制御機構
2
3.学会等名 第71回生態学会(招待講演)
4 . 発表年 2024年
1.発表者名 出﨑能丈,吉岡裕司,林海斗,二宮直也,野澤彰,澤崎達也,新屋友規,Ivan Galis,有村 源一郎
ᆸᆿᇏᄉ,ᄓᄢᇛᆈ,ᆟᄭᄖᅮᅥ,ᆖᆸᆸᇦ,ᅿᄰᆇᄼ,ᄷᄢᄹᆸᇬᆐᆂᄶᄷ,ᆙᄱᆙᅜᆙᅜᆙᆙᆙᄝ
2.発表標題
RALFペプチド/マレクチン型受容体キナーゼを介した害虫抵抗性機構の解明
3.字云寺石 植物化学調節学会第58回大会
4 . 発表年
4 . 免表年 2023年
1.発表者名 金子瑛紀,中原瑠香,松井健二,有村源一郎
2.発表標題
エッセンシャルオイルを植物免疫活性化剤として利用したトマトの害虫防除技術の開発
3.学会等名
植物化学調節学会第58回大会
4.発表年
2023年
1 . 発表者名
I. 充衣看名 遠藤有希子,田中未来,谷村香織,出崎能丈,小澤理香, Massimo Maffei,新屋友規,Ivan Galis,有村源一郎
2.発表標題 ナミハダニ公公エリンター「テトラニン」の植物、植合老井道広機構における機能
ナミハダニ分泌エリシター「テトラニン」の植物 植食者共適応機構における機能
3.学会等名
植物化学調節学会第58回大会
4.発表年
2023年

1.発表者名 中田みのり,橋爪裕人,瀧口麻由,黒川友梨香,八須匡和,出﨑能丈,根本圭一郎,野澤彰,澤崎達也,有村源一郎
2 . 発表標題 シロイヌナズナにおけるハスモンヨトウの活性型オリゴ糖エリシター受容機構モデル
3 . 学会等名 植物化学調節学会第58回大会
4 . 発表年 2023年
1.発表者名 Arimura G., Desaki Y.
2. 改丰福度
2 . 発表標題 Plant defense system in arabidopsis-Spodoptera interactions
a NEA OF TO
3 . 学会等名 The 33rd International Conference on Arabidopsis Research (ICAR 2023)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2023年
4 75 = 4.67
1.発表者名 有村源一郎
2.発表標題 植物のコミュニケーションの不思議と無農薬栽培への応用!
- WARE
3.学会等名 日本農芸化学会サイエンスカフェin 東京(招待講演)
4.発表年 2022年
£04£Ţ
No. 10 to 10
1 . 発表者名 川口純奈,林海斗,出崎能丈,Abdelaziz Ramadan,西川舞,野澤彰,根本圭一郎,澤崎達也,有村源一郎
2 . 発表標題 E3ユピキチンリガーゼJUL1によるエチレン応答性因子ERF15を介した遺伝子制御機構
3.学会等名
第45回日本分子生物学会年会
4.発表年
2022年

1.発表者名 古波蔵優人,西原昌宏,斎藤栞,木村恒介,八代拓也,西山千春,有村源一郎
2 . 発表標題 ベタシアニン代謝工学による抗炎症野菜の開発
3.学会等名 第45回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 高沢青大,小林正樹,八須匡和,木村恒介,古波蔵優人,樋上賀一,有村源一郎
2 . 発表標題 高抗肥満薬アミノ酸メンチルエステル化合物の開発
3.学会等名 第45回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 木村恒介,宮永正斗,八須匡和,Abdelaziz Ramadan,八代拓也,松井健二,木村成介,助川聖,長田和樹,白石充典,西山千春,有村源 一郎
木村恒介,宮永正斗,八須匡和,Abdelaziz Ramadan,八代拓也,松井健二,木村成介,助川聖,長田和樹,白石充典,西山千春,有村渡
木村恒介,宮永正斗,八須匡和,Abdelaziz Ramadan,八代拓也,松井健二,木村成介,助川聖,長田和樹,白石充典,西山千春,有村派一郎 2.発表標題
木村恒介,宮永正斗,八須匡和,Abdelaziz Ramadan,八代拓也,松井健二,木村成介,助川聖,長田和樹,白石充典,西山千春,有村派一郎 2 .発表標題 高抗炎症薬アミノ酸メンチルエステル化合物の開発 3 . 学会等名
本村恒介,宮永正斗,八須匡和,Abdelaziz Ramadan,八代拓也,松井健二,木村成介,助川聖,長田和樹,白石充典,西山千春,有村派一郎 2 . 発表標題 高抗炎症薬アミノ酸メンチルエステル化合物の開発 3 . 学会等名 第45回日本分子生物学会年会 4 . 発表年
本村恒介,宮永正斗,八須匡和,Abdelaziz Ramadan,八代拓也,松井健二,木村成介,助川聖,長田和樹,白石充典,西山千春,有村派一郎 2 . 発表標題 高抗炎症薬アミノ酸メンチルエステル化合物の開発 3 . 学会等名 第45回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2022年
木村恒介, 宮永正斗, 八須匡和, Abdelaziz Ramadan, 八代拓也, 松井健二, 木村成介, 助川聖, 長田和樹, 白石充典, 西山千春, 有村派一郎 2. 発表標題 高抗炎症薬アミノ酸メンチルエステル化合物の開発 3. 学会等名 第45回日本分子生物学会年会 4. 発表年 2022年 1. 発表者名 田中未来, 谷村香織, 遠藤有希子, 出崎能丈, 小澤理香, Massimo E. Maffei, 新屋友規, Ivan Galis, 有村源一郎 2. 発表標題

1. 発表者名
出崎能丈,森島実奈美,佐野友香,上村卓矢,伊藤綾華,根本圭一郎,野澤彰,澤崎達也,有村源一郎
2.発表標題
2 . 光表標題 シロイヌナズナにおける受容体様細胞質キナーゼネットワークを介した虫害防御応答機構
3 . 学会等名 第45回日本分子生物学会年会
第45回口本方丁王初子云午云 4.発表年
4 · 光表年 2022年
1 . 発表者名
有村源一郎
0 7% = 1 X 0 X
2 . 発表標題 化学コミュニケーションによる植物の防御応答
3.学会等名
第58回植物化学シンポジウム「植物化学と生物間コミュニケーション」(招待講演)
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名
有村源一郎
2 . 発表標題 植物の害虫抵抗性のための嗅覚システム
3 . 学会等名
2022年度日本味と匂学会第56回大会シンポジウム「多様な生物の化学感覚受容機構」(招待講演)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名
Arimura G.
2 . 発表標題 Defense system of Arabidopsis plants against the model herbivore Spodoptera
3 . 学会等名
Gordon Research Conference Plant Herbivore Interaction(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2023年

1.発表者名
有村源一郎
2 . 発表標題
害虫の唾液因子によって調節される植物の防御応答システム
3.学会等名
っ・子云守石 第63回日本植物生理学会 シンポジウム「寄生・共生・防御・感染を制御する化学シグナル」(招待講演)
第03回日平恒物主任子云(ジブホジザム)可主・共主・別師・惣朱で削師する化子ジブブル」(指付講演)
4.発表年
2022年
1 . 発表者名
有村源一郎
1515.00
2.発表標題
安全な食と環境をめざした有機農業システムの開発に向けて
2.
3.学会等名 - TIS Farm 2004(初待漢字)
TUS Forum 2021(招待講演)
4.発表年
4. 光表年 2021年
۷۷۷۱+
1.発表者名
本島実奈美,佐野友香,上村卓矢,出崎能丈,伊藤綾華,根本圭一郎,Ivan Galis,野澤彰,澤崎達也,有村源一郎
林田夫尔夫,性野火目,工物学大,山崎能义,所烧放学,似乎主一取,IVali Vali 15,野学学/,净崎连也,有物质 即
2.発表標題
2.発表標題 シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3.学会等名
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3.学会等名 第44回日本分子生物学会年会
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3.学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4.発表年
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3.学会等名 第44回日本分子生物学会年会
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3.学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4.発表年 2021年
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3.学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4.発表年 2021年
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由, 上村卓矢, 住岡裕香, 山崎廉予, 木原侑香, 新屋友規, Ivan Galis, 有村源一郎
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由,上村卓矢,住岡裕香,山崎廉予,木原侑香,新屋友規,Ivan Galis,有村源一郎 2 . 発表標題
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由, 上村卓矢, 住岡裕香, 山崎廉予, 木原侑香, 新屋友規, Ivan Galis, 有村源一郎
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由,上村卓矢,住岡裕香,山崎廉予,木原侑香,新屋友規,Ivan Galis,有村源一郎 2 . 発表標題
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由,上村卓矢,住岡裕香,山崎廉予,木原侑香,新屋友規,Ivan Galis,有村源一郎 2 . 発表標題
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由, 上村卓矢, 住岡裕香, 山崎廉予, 木原侑香, 新屋友規, Ivan Galis, 有村源一郎 2 . 発表標題 シロイヌナズナの虫害応答シグナル伝達系におけるハスモンヨトウ唾液内細菌の機能の解明
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由, 上村卓矢, 住岡裕香, 山崎廉予, 木原侑香, 新屋友規, Ivan Galis, 有村源一郎 2 . 発表標題 シロイヌナズナの虫害応答シグナル伝達系におけるハスモンヨトウ唾液内細菌の機能の解明 3 . 学会等名
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由, 上村卓矢, 住岡裕香, 山崎廉予, 木原侑香, 新屋友規, Ivan Galis, 有村源一郎 2 . 発表標題 シロイヌナズナの虫害応答シグナル伝達系におけるハスモンヨトウ唾液内細菌の機能の解明
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由, 上村卓矢, 住岡裕香, 山崎廉予, 木原侑香, 新屋友規, Ivan Galis, 有村源一郎 2 . 発表標題 シロイヌナズナの虫害応答シグナル伝達系におけるハスモンヨトウ唾液内細菌の機能の解明 3 . 学会等名
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由, 上村卓矢, 住岡裕香, 山崎廉予, 木原侑香, 新屋友規, Ivan Galis, 有村源一郎 2 . 発表標題 シロイヌナズナの虫害応答シグナル伝達系におけるハスモンヨトウ唾液内細菌の機能の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由,上村卓矢,住岡裕香,山崎廉予,木原侑香,新屋友規,Ivan Galis,有村源一郎 2 . 発表標題 シロイヌナズナの虫害応答シグナル伝達系におけるハスモンヨトウ唾液内細菌の機能の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由,上村卓矢,住岡裕香,山崎廉予,木原侑香,新屋友規,Ivan Galis,有村源一郎 2 . 発表標題 シロイヌナズナの虫害応答シグナル伝達系におけるハスモンヨトウ唾液内細菌の機能の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年
シロイヌナズナにおけるPBL27-CRK2を介した虫害防御応答機構の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 瀧口麻由,上村卓矢,住岡裕香,山崎廉予,木原侑香,新屋友規,Ivan Galis,有村源一郎 2 . 発表標題 シロイヌナズナの虫害応答シグナル伝達系におけるハスモンヨトウ唾液内細菌の機能の解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年

1 . 発表者名 田中未来,谷村香織,若谷晃汰,小澤理香,北條優子,新屋友規,Galis Ivan,出崎能丈,有村源一郎
2 . 発表標題 ナミハダニのタンパク質エリシター「テトラニン」の機能解析
3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 小野里悠希,藤本源哉,樋上智大,坂本卓也,松永幸大,関原明,有村源一郎
2.発表標題 オシメンによって誘導されるシロイヌナズナの防御応答に関するエピジェネティック転写制御
3.学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2021年
202. 1
1.発表者名 鈴木ひとみ,清水弘平,上村卓,野澤彰,出崎能丈,星野稜介,吉田彩子,安部洋,西山真,西山千春,澤崎達也,有村源一郎
1 . 発表者名
1.発表者名 鈴木ひとみ,清水弘平,上村卓,野澤彰,出崎能丈,星野稜介,吉田彩子,安部洋,西山真,西山千春,澤崎達也,有村源一郎 2.発表標題
1.発表者名 鈴木ひとみ,清水弘平,上村卓,野澤彰,出崎能丈,星野稜介,吉田彩子,安部洋,西山真,西山千春,澤崎達也,有村源一郎 2.発表標題 イネ科モデル植物ミナトカモジグサにおけるNPR1とNPR2の機能解明 3.学会等名
1 . 発表者名 鈴木ひとみ,清水弘平,上村卓,野澤彰,出崎能丈,星野稜介,吉田彩子,安部洋,西山真,西山千春,澤崎達也,有村源一郎 2 . 発表標題 イネ科モデル植物ミナトカモジグサにおけるNPR1とNPR2の機能解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年
 発表者名 鈴木ひとみ、清水弘平、上村卓、野澤彰、出崎能丈、星野稜介、吉田彩子、安部洋、西山真、西山千春、澤崎達也、有村源一郎 発表標題 イネ科モデル植物ミナトカモジグサにおけるNPR1とNPR2の機能解明 予会等名 第44回日本分子生物学会年会 発表年 2021年 発表者名 小野里悠希、藤本源哉、樋上智大、坂本卓也、松永幸大、関原明、有村源一郎 発表標題 揮発性テルベンに応答したシロイヌナズナの防御応答エビジェネティック制御機構
1 . 発表者名
1 . 発表者名 会木ひとみ、清水弘平、上村卓、野澤彰、出崎能丈、星野稜介、吉田彩子、安部洋、西山真、西山千春、澤崎達也、有村源一郎 2 . 発表標題 イネ科モデル植物ミナトカモジグサにおけるNPR1とNPR2の機能解明 3 . 学会等名 第44回日本分子生物学会年会 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 小野里悠希、藤本源哉、樋上智大、坂本卓也、松永幸大、関原明、有村源一郎 2 . 発表標題 揮発性テルベンに応答したシロイヌナズナの防御応答エビジェネティック制御機構

1. 発表者名
有村源一郎
2 . 発表標題
植物の害虫抵抗性機構
3.学会等名
生物刺激制御研究会(招待講演)
4 . 発表年
2021年
1. 発表者名
有村源一郎,出崎能丈
2.発表標題
害虫が分泌するエリシターの植物認識機構
a. W.A. Market
3.学会等名
化学コミュニケーションのフロンティア 第8回公開シンポジウム
2021年
2V217
1.発表者名
Arimura G.
2.発表標題
2 . 光衣标题 Macro- and micro-perspective of signal transduction for trade-off between plants and insects
macro- and intero-perspective of Signal transduction for trade-off between plants and insects
3 . 学会等名
Tsukuba Conference 2021(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2021年
1.発表者名
T : 光衣有石 Linh T.T. Tran、清水康平、及川大輔、小迫英尊、高橋宏隆、澤崎達也、徳永文稔
Enni 1.1. 1.01、月小风干、汉川入州、小足大寺、向侗公性、洋则廷也、临小人他
2. 発表標題
A novel LUBAC-associated protein plays important roles in inflammatory response through regulation of programmed cell death
3 . 学会等名
第94回日本生化学会大会
4 . 発表年
2021年

I	1.発表者名								
ı	\$∆ ↓ 7□	+⊏ □ ¥33	古场 空吸		计设计 计电	口此吉 吃仁	ID 4T	田白 歩	++ ==

鈴木 陽一、坂口 翔、高橋 宏隆、川島 生、江見 晶野、加藤 文博、日紫喜 隆行、呉紅、田島 茂、林 昌宏、高崎 智彦、澤崎 達也、中 野 隆史

2 . 発表標題

インターフェロン誘導性因子IFI27の抗フラビウイルス活性の分子機構

3 . 学会等名

第55回日本脳炎ウイルス生態学研究会

4.発表年

2021年

1.発表者名

高橋 宏隆, 重松 裕樹,鈴木 陽一, Vasudevan G. Subhash,澤崎 達也

2 . 発表標題

デングウイルスNS3に結合する新規宿主因子SIGIRRの機能解析

3.学会等名

第68回日本ウイルス学会学術集会

4.発表年

2021年

1.発表者名

江村 祐希,野澤 彰, Subhash G. Vasudevan,高橋 宏隆,澤崎 達也

2 . 発表標題

コムギ無細胞系によって合成したデングウイルスポリプロテインによるin vitroでのウイルス複製複合体の再構成

3 . 学会等名

第68回日本ウイルス学会学術集会

4.発表年

2021年

1.発表者名

村松 ちひろ、野澤 彰、西野 耕平、小迫 英尊、澤崎 達也

2 . 発表標題

近位依存性ビオチン化酵素AirIDを用いた植物個体内でのジベレリン受容体相互作用タンパク質の探索

3 . 学会等名

第56回植物化学調節学会

4 . 発表年

2021年

1 . 発表者名 堀 凌輔、三好 省吾、山田 航大、野澤 彰、澤崎 達也
2 . 発表標題 花成抑制因子TFL1の生体内機能解明に向けた阻害剤開発と相互作用タンパク質の探索
3.学会等名
第56回植物化学調節学会
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 高橋 宏隆 , 坂口 詩穏 , 林 徳宙 , 入江 崇 , 小迫 英尊 , 澤崎 達也
2.発表標題 In vitroおよび細胞レベルの2つの相互作用解析を基盤としたウイルスRNA受容体MDA5の新規結合タンパク質の網羅的同定
3.学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 岩崎 誠 , 長尾 和哉 , 及川 大輔 , 小迫 英尊 , 徳永 文稔 , 高橋 宏隆 , 澤崎 達也
2 . 発表標題 直鎖状ポリユビキチン鎖デコーダーZnUBPのNF-kBシグナル制御機構の解明
3.学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 清水康平、Linh T.T. Tran、及川大輔、小迫英尊、高橋宏隆、澤崎達也、徳永文稔
2.発表標題 新規LUBAC結合タンパク質はNF-kB活性化、アポトーシス及びネクロプトーシスを制御する
3.学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2021年

1.発表者名 有村源一郎
2 . 発表標題 ミントの香りの動植物における生理機能
3 . 学会等名 第30回イソプレノイド研究会
4.発表年 2020年
1.発表者名
下,完 我 有名 藤本源哉,小野里悠希,樋上智大,坂本卓也,松永幸大,関原明,有村源一郎
2 . 発表標題
2 . 光表保超 揮発性テルペンに曝された香り受容植物のエピジェネティクスを介した防御応答機構の解明
第30回イソプレノイド研究会
4.発表年
2020年
1. 発表者名
Tsuzuki, C., Hachisu M., Nakayama Y, Nonaga Y, Sukegawa S., Horito S., Arimura G.
2.発表標題
Effect of amino acid esters of menthol on induced defense responses in plants
3.学会等名
第43回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020年
2020年
1.発表者名
Fujimoto G., Sakamoto T., Matsunaga S., Seki M., Arimura G.
2 . 発表標題 Elucidation of epigenetic control mechanism of the defense response in cruciferous plants
2
3 . 学会等名 第43回日本分子生物学会年会
4 . 発表年 2020年

1.発表者名

Takiguchi M., Uemura T., Sumioka Y., Yamazaki Y., Shinya T., Ivan G., Arimura G.

2 . 発表標題

Functional characterization of symbiotic bacteria existing in the saliva of Spodoptera litura on defense response of Arabidopsis

3.学会等名

第43回日本分子生物学会年会

4.発表年

2020年

1.発表者名

Suzuki H., Shimizu K., Uemura T., Nozawa A., Desaki Y., Hoshino R., Yoshida A., Abe H., Nishiyama M., Nishiyama C., Sawasaki T., Arimura G.

2 . 発表標題

NPR-mediated immune system in the model monocot plant Brachypodium distachyon

3 . 学会等名

第43回日本分子生物学会年会

4.発表年

2020年

1.発表者名

Sano Y., Morishima M., Uemura T., Ito A., Hoshino R., Desaki Y., Nozawa A., Sawasaki T., Galis I., Nemoto K., Arimura G.

2.発表標題

Functional analysis of HAK-mediated signal transduction in Arabidopsis plants in response to herbivory

3 . 学会等名

第43回日本分子生物学会年会

4.発表年

2020年

1.発表者名

Tanimura K., Yasuno A., Tanaka M., Wakaya K., Takafuji K., Ida J., Abe H.,, Desaki Y., Arimura G.

2 . 発表標題

Characterization of Tetranychus urticae-derived elicitors (tetranins) : their molecular function and response system in host plants

3 . 学会等名

第43回日本分子生物学会年会

4.発表年

2020年

1.発表者名 田中萌菜,大田黒百音,肥塚崇男,松井健二
2.発表標題 植物葉を傷つけるとみどりの香りを急激に生成する仕組みは進化過程でいつどのようにかくとくされたのか
3.学会等名 日本農芸化学会2021年度大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 田中萌菜,大田黒百音,肥塚崇男,松井健二
2 . 発表標題 担子菌ウシグソヒトヨタケ1-オクテン-3-オール生合成経路及びその生理・生態学的意義の解明
3.学会等名 日本農芸化学会2021年度大会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 手嶋琢,府内里紗,中沢威人,本田与一,肥塚崇男,松井健二
2 . 発表標題 担子菌ウシグソヒトヨタケ1-オクテン-3-オール生合成経路及びその生理・生態学的意義の解明
3 . 学会等名 第52回種生物学シンポジウム
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 手嶋琢,山田直弘,横田侑子,佐山貴司,稲垣賢二,肥塚崇男,上船雅義,石本政男,松井健二
2 . 発表標題 メチオニン - リアーゼ遺伝子発現の抑制は大豆種子のS-メチルメチオニン過剰蓄積を引き起こす
3.学会等名 日本植物学会第84回大会
4 . 発表年 2020年

1.発表者名	
松井健二,大田黒百音,田中萌菜,肥塚崇男	
2.発表標題	
植物組織傷害による急激なみどりの香り生成能はいつ獲得されたのか?	
3.学会等名	
日本植物学会第84回大会	
4 . 発表年	

〔図書〕 計0件

2020年

〔出願〕 計2件

産業財産権の名称	発明者	権利者
抗肥満用組成物	有村源一郎,高沢青	同左
	大,八須匡和,樋上	
	賀一,小林正樹	
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、2022-167544	2022年	国内

産業財産権の名称 生育植物の免疫応答活性化剤、及び免疫応答活性化方法	発明者 有村源一郎,金子瑛 紀	権利者 同左
産業財産権の種類、番号	出願年	国内・外国の別
特許、2023-150302	2023年	国内

〔取得〕 計0件

〔その他〕

東京理科大学有村研究室 https://www.rs.tus.ac.jp/garimura/ 山口大学 松井・肥塚研究室 http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~matsui/ 愛媛大学プロテオサイエンスセンター http://www.pros.ehime-u.ac.jp/section/01.html

研究組織

_ 6	. 丗光組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	澤崎 達也	愛媛大学・プロテオサイエンスセンター・教授	
研究分批者	(Sawasaki Tatsuya)		
	(50314969)	(16301)	

6.研究組織(つづき)

	(ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	松井 健二	山口大学・大学院創成科学研究科・教授	
研究分担者	(Matsui Kenji)		
	(90199729)	(15501)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------